

組織的な大学院教育改革推進プログラム事後評価結果

機関名	九州工業大学	整理番号	B039
主たる研究科・専攻等名	情報工学府		
教育プログラム名	モジュール積み上げ方式の分野横断型コース		
取組実施代表者	延山 英沢		

組織的な大学院教育改革推進プログラム委員会における評価

<p>【総合評価】</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 目的は十分に達成された <input type="checkbox"/> 目的はほぼ達成された <input type="checkbox"/> 目的はある程度達成された <input type="checkbox"/> 目的はあまり達成されていない </p>
<p>〔実施（達成）状況に関するコメント〕</p> <p>週2回開講のクォータ制の導入、キャリアパス形成を考慮した分野横断型のコース・モジュール制、半期ごとの研究計画・報告書作成、複数指導教員制、大学院生による評価など従来の教育プログラムを大きく改革する先進的な取組に工夫を凝らし、着実にプログラムが実施されている。</p> <p>コース・モジュール修了者が年々増加し、さらに就職率の改善がみられるなど、教育の実質化にも貢献した。</p>
<p>（優れた点）</p> <p>コース・モジュール制が制度として定着してきており、大学院生の評価も概ね高く、効果を客観的に数値化し把握する工夫がされている。</p> <p>支援期間終了後も新コースを増設するなど自主的・恒常的な展開のための検討もなされている。</p> <p>他部局でもコース・モジュール制を導入することが決定しており、中期目標・中期計画に盛り込まれている。</p> <p>運営母体が明確であり、毎年見直しうる体制ができている。シンポジウム、合同フォーラムや市報なども含め、社会への情報発信も積極的に行っている。</p>
<p>（改善を要する点）</p> <p>より多くの大学院生の満足度を向上させるよう、さらなる課題分析が求められる。</p> <p>独創性を育む試みなどを視野に入れ、さらに魅力的なコース・モジュールをどう構築していくかが重要である。</p>